

令和5年度羽島市上下水道事業経営審議会 会議要旨

日 時	令和5年8月2日(水) 午後1時25分から午後2時45分まで
場 所	羽島市役所 本庁舎4階 第一委員会室
出席者	<p>[審議委員]</p> <p>李 富生会長、金森 更二副会長、江崎 真理子委員、馬場 文親委員、 神田 直子委員、鷺野 俊樹委員、錦野 美代子委員、奥田 一夫委員、 名倉 洋子委員、浅井 都委員</p> <p>[事務局]</p> <p>松井市長、山田上下水道部長、澁谷経営課長、中島工務課長、 箕浦浄化センター所長、服部経営課主幹、前田経営課主幹、 鈴木工務課主幹、宇野工務課長補佐、山木田経営課主査</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 会長挨拶</p> <p>4 議事</p> <p>(1)令和4年度水道事業会計決算状況について 水道事業会計の決算状況について、資料1に基づき報告。</p> <p>(2)水道事業の報告について 水源地及び基幹管路の耐震化状況について、資料2に基づき報告。</p> <p>(3)令和4年度下水道事業会計決算状況について 下水道事業会計の決算状況について、資料3に基づき報告。</p> <p>(4)下水道事業の報告について 下水道整備計画、本管整備予定箇所及び浄化センターの整備計画等 について、資料4に基づき報告。</p> <p><質疑応答></p> <p>【委員】電気料金が高騰する中、下水道会計の営業費用が令和3年度より7</p>

千万円ほど抑えられたのは、汚水処理方法でなんらかの対策を行ったためか。

【事務局】革新的な処理方法を導入したわけではない。処理場費だけ見ると、電気料金高騰による影響を受けて令和3年度より2千万円ほど増加している。営業費用が減少した大きな要因は、減価償却費の減少によるものである。

【委員】各務原市の水源地から発がん性のある PFAS が基準を上回る数値で検出されたと報道されている。羽島市の状況はどうなっているか。

【事務局】令和2年9月に小熊水源地で検査した結果は、国の暫定目標値の10分の1以下であった。検査結果は2年間ホームページで公表している。現在、PFAS は水質管理上の必須項目ではなく、目標項目となっているが、今後は9月に検査を実施し、次年度以降も継続していきたい。

【委員】建設改良費については水道事業より下水道事業の方が大きくなっているにもかかわらず、技術職員数は水道事業の方が多くなっている。そのような状況下で、令和4年度に下水道の技術職員が1名減となったのはなぜか。

【事務局】水道事業と下水道事業の技術職員は同じ工務課に所属しているため、相互に協力して業務を進めている。今後は下水道事業の令和7年度の整備目標達成に向け、職員が不足すると考えられるため、人事部門に増員を要望したい。

【委員】下水道汚泥は専門業者への委託により処理されていると思うが、現委託先が受け入れ不可となるような緊急事態を想定したバックアップ体制を準備しているか。

【事務局】現在、株式会社りゅういきと委託契約し、バイオマス燃料としてリサイクル処理している。急に受入不可となった場合のバックアップ体制は今後の課題である。

【委員】下水道汚泥の肥料化で地域農業の生産活動を支援するなど将来に向けた取り組みも検討願いたい。

【事務局】岐阜市では焼却施設で汚泥を燃やしてリンを回収し、堆肥化しているが、施設の維持管理費が膨大にかかっている。当市では、今後、浄化センターの水処理施設を増設するための整備費が必要であり、当面焼却施

設等の建設は難しいと考えている。

<ご意見>

【委員】脱水した汚泥は、炭化して燃料として利用する方法と、堆肥化して土壌改良剤や肥料として活用する方法がある。将来の方向性も含め、万が一の時に対応していけるような方法を考えていただきたい。岐阜市のリン回収はモデル的な取り組みとなっているが、投資額に収益が見合っていないなど問題点はある。しかしながら、汚泥堆肥化は国の方針であり世界的な動向でもあるので、民間や大学などと協力して方向性を検討してはどうかと思う。

【委員】水道の収入減少は下水道使用料改定に伴う減免の影響もあると思われる。下水道の使用料改定による影響は、令和4年度は3か月分だけであるが、次年度決算の収支の数値を期待したい。また、下水道については経費が大幅に減っている項目があるので、突発的な支出がなければ今後さらに収支が改善されるのではと期待している。

5 閉会